

発行所
株式会社 中外日報社
©中外日報社2023

京都本社 〒601-8004 東京支社 〒113-0033
京都市南区東九条東山王町9 東京都文京区本郷4-9-13

電話 (075)671-3211(代) 電話 (03)3816-4721(代)
FAX (075)671-2140 FAX (03)3811-5222

https://www.chugainippoh.co.jp
Eメールhenshu@chugainippoh.co.jp



台湾から釈海濤氏来日

6月10日まで滞在予定

埼玉・見性院拠点に講演

世界各国に信者を持つ台湾人僧侶・釈海濤氏が4月28日に来日した。埼玉県熊谷市の曹洞宗見性院を訪れ、3日に営まれた大法要には道俗約100人が参列した。3度にわたって海濤氏と橋本英樹・見性院住職が対談し、日本と台湾の仏教の違いや今後の日本仏教の進むべき道など多岐にわたって議論した。海濤氏は「日本の僧侶は家庭を持ち、みんなで力



議論する釈海濤氏(右から2番目)と橋本英樹住職(左)

を合わせて社会に貢献する。一方、台湾の僧侶は独身で、自分の修行に集中して悟りを目指す。形は違ってもそれぞれに良さがあり、目指しているところも同じだと思おう」と話した。

日本の「空気を読む」文化について「空気を読み過ぎると、他人の目線を気にし過ぎてストレスがたまる。中国文化には自分らしく生きる考え方がある。バランスよく取り組むことができれば、優しく、幸せになれるはずだ」と指摘した。

橋本住職は「神々しく品格のある海濤法師に圧倒され続けた。対談の中で道元禅師の言葉を引用してくださったことに感動した」と話した。

海濤氏は1958年、台湾南部の高雄に生まれた。実業家として幅広く活動していたが、お金を稼ぐという行為に苦しみを感じていたという。母親が病気になることを契機に35歳で出家した。2002年に香港の觀宗寺で天台宗の法脈を継いだ。現在は特定の教団に属さず自坊も持たない。「海濤法師」の名で知られ、台湾や中国を中心に世界中に信者を持つ。

海濤氏は6月10日まで日本に滞在する予定。

(奥西極)